

玉井小だより

平成27年7月16日
大玉村立玉井小学校
TEL (48) 3302
発行者 校長 佐藤一男

資源物回収、ありがとうございました

7月12日(日)、PTA資源物回収が行われました。

新聞紙の大きな束など重いものは、軽トラックから降ろすだけでも大変なのですが、それを自分の背よりも高い大型トラックの荷台まで持ち上げるのはなかなか大変な作業でした。

女性のみなさんも炎天下、アスファルトの上での作業はさぞ大変だったことと思います。最高気温が35℃の猛暑日、大変な作業でした。本当にお疲れ様でした。

昨年度は収益金で陸上のスパイク等を購入させていただいております。今回の収益金もPTA会長さんにご相談させていただき、子どもたちのために必要なものに支出させていただきます。本当にありがとうございました。



【新聞紙・雑誌等の仕分け作業】



【瓶類の仕分け作業】

通知票でほめてくさい

終業式の日にもらう通知票は、子どもたちが学校で一生懸命でがんばった証です。よかった点ばかりだと嬉しいでしょうが、親の期待どおりでないこともあるでしょう。でもそれは子どもたちにとっても同じです。ですから子どもたちの成長した姿や〈裏へ続きます〉

よいところをほめてあげてください。子どもには子どもなりの誇り・プライドがあります。子どもは認めてもらい、ほめてもらって伸びていきます。

「学習では、課題に向き合う姿勢が身についています。」

「困っている友達がいると、進んで助ける優しい姿が見られ、友だちから信頼されています。」など

通知票には、子どもたちの素敵な面がたくさん書いてあります。また出欠の状況も見てあげてください。そして「1学期、1日も休まなかったね。すごいね。」「長い1学期、1日休んだだけなんだ。すごいぞ。」と言ってあげてください。

先生方は1学期間、毎日子どもたち一人一人を見てきて、そして何日もかけて下書きをして、通知票を書いています。精一杯心を込めて書いています。どうかその通知票をお子さんをほめるための手立てとして、そして子どもたちがさらに伸びるための資料として生かして下さるようお願いいたします。

編集後記

「さあ、夏休みだぞ！」



【何かいそうだね】

子どもたちが待ちに待った夏休みです。わたしたち大人も子どもだった頃、担任の先生から通知票をもらって、「さようなら！」と、校舎を駆け出すときの何とも言えない開放感や、夏休みへの期待感のようなものは誰の記憶にも残っているのではないのでしょうか。

「夏休み」は日本の大事な文化だと思います。ただ単に、暑いから学校を休みにするということだけではありません。その長い休みには学校にはない夏休みならではの時間と空間が広がっています。私たち大人にとっても、あの夏にオニヤンマを追いかけてたり、カブトムシを捕ったり、親戚が集まって花火をしたことなどは、かけがえのない大事な思い出なのではないのでしょうか。

ふるさとの美しさ、豊かさそしてふるさとの絆等を知らず知らずのうちに学んでいるのが「夏休み」なのだと思います。

子どもの頃、毎朝一緒にラジオ体操をやったり、暑い中、集まって夏友をやったりした仲間は一生の財産です。

夏休みが子どもたちにとって本当の心の宝物になることを願っています。